

○ 西宇利川(土合)地内の舗装工事が完了しました。(11月29日)

大谷橋近く、西宇利川地内の市道で、農集排の管路が無かった部分の舗装が懸案となっていました。今回、市から原材料(舗装資材)の支給を得て工事をおこないました。



○ 「産廃問題」に関して、市生活環境課からの経過連絡

- ・市生活環境課から「(有)タナカ興業新城工場における最近の経過」について連絡がありました。⇒ 別記を参照

○ 八名区長会・地元市議の懇談会が行われました。(11月23日)

- ・11月臨時市議会の報告(各委員会構成等)
- ・スマートインターチェンジについて(市議からの状況説明, 意見交換等)
- ・「産廃問題」について
 - ⇒ 市環境部生活環境課からの経過連絡(⇒前項)
 - ⇒ 「臭気対策を徹底化することはこれからも続けて行く所存です。」(H29.10.24, 穂積氏)との発言を受けて, 「臭気対策の徹底化」の具体的内容を求めて行く。
- ・農業委員・推進委員の選考結果及び任命等について, 市農業課から報告があった。
- ・次年度スポーツ推進員について ⇒ 現推進員から愛知県スポーツ推進員研究大会(H30年度は新城市で開催), 東海四県スポーツ推進委員研究大会(H30年度は東三河で担当)に対応するため選出ローテーションの弾力的な運用を求める依頼が伝えられた。

<平成29年度第16回区役員会(11月18日)の主な事項>

- ・区政審議委員会(11/12)について
- ・H29年度予算執行状況及びH30年度予算原案と福祉費について
- ・顧問の委嘱について
- ・一鉄田区のホームページについて
- ・公民館(集会施設)の地区移譲の行程表について
- ・区内土木工事等について
- ・『神札』の配布について

有限会社タナカ興業新城工場における最近の経過について

H29.11.20 新城市生活環境課

- ・ 2次発酵槽用の脱臭棟について
設備本体や接続など，工事自体は完了し，稼働しているが，微生物による脱臭であるため，メーカーが微生物の活性化状況を確認中である。（タナカ興業としては引き渡し前）
- ・ 発酵槽の状況等
1次発酵槽及び2次発酵槽ともに受入可能容量の約5割程度で稼働している。動植物性残渣と汚泥をバランス良く振り分けて東細谷と新城の各事業場で受入している。
- ・ 肥料の出荷先等
主に浜松・田原方面に出荷している。登録肥料名「緑みどり」の成分については，定期的に分析させ，その結果を製品保証書に明記して発注者に渡している。
- ・ 臭気測定（市が委託業務で実施）
 - 平成29年5月19日 敷地境界等3か所とも臭気指数10未満
 - 平成29年7月21日 敷地境界等3か所とも臭気指数10未満
 - 平成29年9月21日 敷地境界等3か所とも臭気指数10未満
 - 平成29年11月15日 敷地境界等3か所及び1次発酵槽用脱臭棟気体排出口でサンプリング，結果待ち
- ・ 県民の生活環境の保全等に関する条例第96条に基づく調査請求関係等
 - 請求 平成29年2月20日 51名（21世帯）
 - 追加請求 平成29年3月21日 21名（11世帯）
 - 調査結果通知 平成29年6月27日（代表者あて送付）

（追記）

- ・ H29.11.15の測定結果について，後日生活環境課から連絡がありました。
 - 敷地境界等3か所 ⇒ 敷地境界等3か所とも臭気指数10未満
 - 脱臭棟気体排出口 ⇒ 臭気指数16（規制値は臭気指数25）
- 備考）増設した脱臭装置については未だ引き渡し前のため測定していない。

《上記「経過」に関する質問と生活環境課からの回答》

> (新しい脱臭装置の)工事自体は完了し、稼働しているが、微生物による脱臭であるため、メーカーが微生物の活性化状況を確認中である。(タナカ興業としては引き渡し前)

Q1:夏には完成とのことでしたが、現在、“完成”したが引き渡しされないということは、計画された性能が出ていないということでしょうか。

A:”完成”の定義にもよりますが、工事(建物等)自体は”完了”していますが、微生物活性化の状況を確認中であるため”完成”はしていないという認識です。メーカーとしては微生物の活性化に想定よりも時間を要しているものと思われまます。

> 1次発酵槽及び2次発酵槽ともに受入可能容量の約5割程度で稼働している。

Q2:一次発酵槽の容量は 127 m³/日ですから、1 日の処理量は 63 m³/日、混合比は、脱水汚泥 30 m³/(24%)、食品残渣 21 m³/(16%)、チップ 76 m³ (60%)とされている(「処理フロー」から引用)ことから、脱水汚泥の搬入量は 15 m³/日、という理解で良いでしょうか。

仮に脱水汚泥の搬入量が 15 m³/日でない場合は、混合割合、発酵期間が「処理フロー」とは異なっているということなのではないでしょうか。新城設楽振興事務所環境保全課との情報共有ではどのように確認されているのでしょうか。

A:前段として、これまで市から情報提供させて頂いた稼働状況は概算(目算)であり、日ごとの搬入や作業により変動しています。

脱水汚泥の搬入に関しても、毎日定量が搬入されるものではありません。

混合割合、発酵期間について詳細な数値は持ち合わせておりませんが、各発酵期間の必要最低限日数は確保しているという認識です。また、それらの全てについては市では確認しておりません。あわせて、新城設楽振興事務所環境保全課と情報共有しておりますが、前述のように全ての堆肥について詳細な情報のやり取りがあるわけではありません。

> ・臭気測定(市が委託業務で実施)について、

Q3:測定はいろいろな時間帯で行われているのでしょうか。現地では、夕方から 23 時頃に悪臭があるとの報告もありますが...

A:業務委託による臭気指数の測定は、原則として日中に実施しています。